

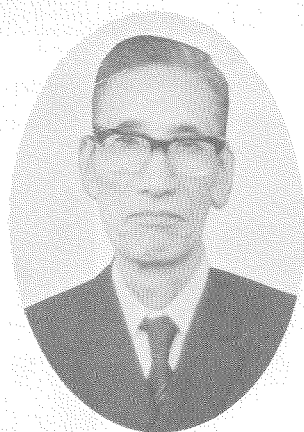
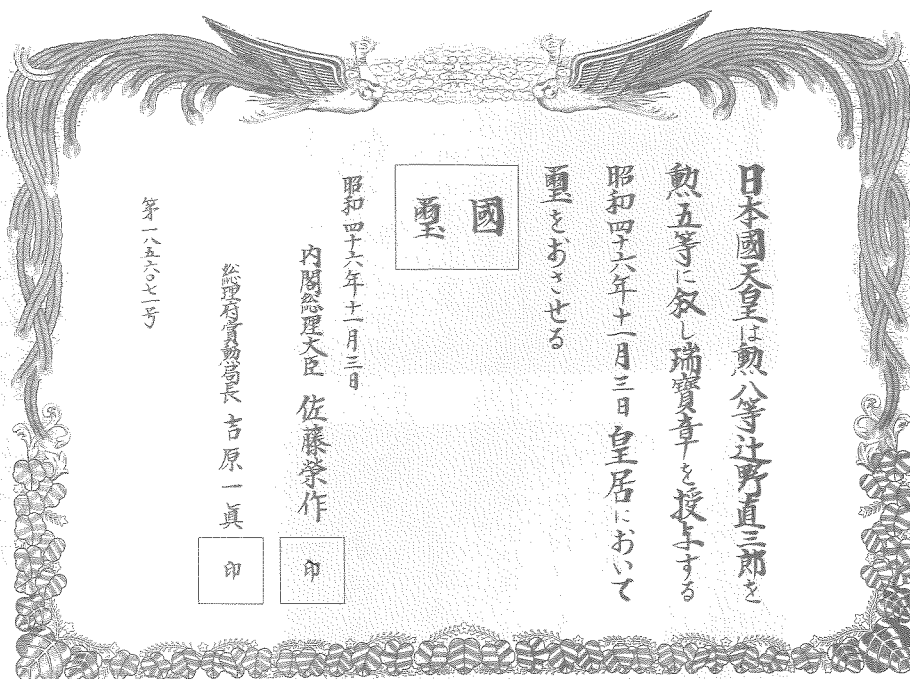


Title	栄光に輝く叙勲
Author(s)	
Citation	makoto. 1977, 20, p. 21-26
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/86176">https://doi.org/10.18910/86176</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

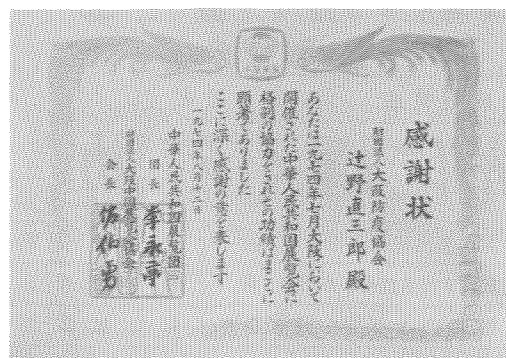
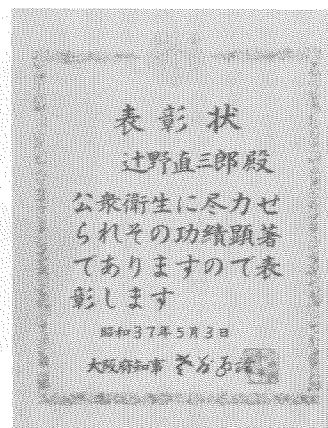
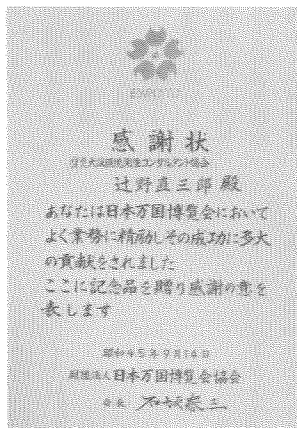
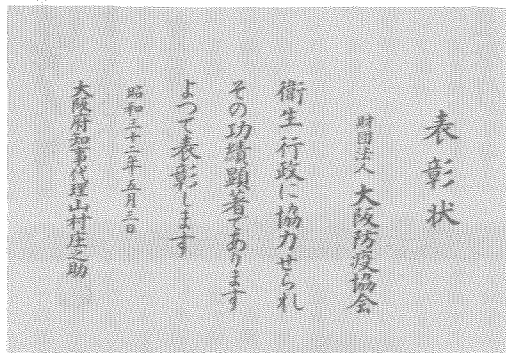
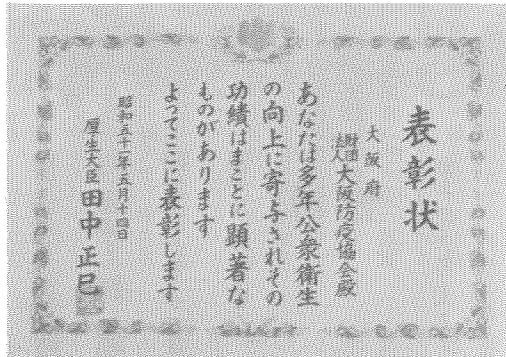
The University of Osaka

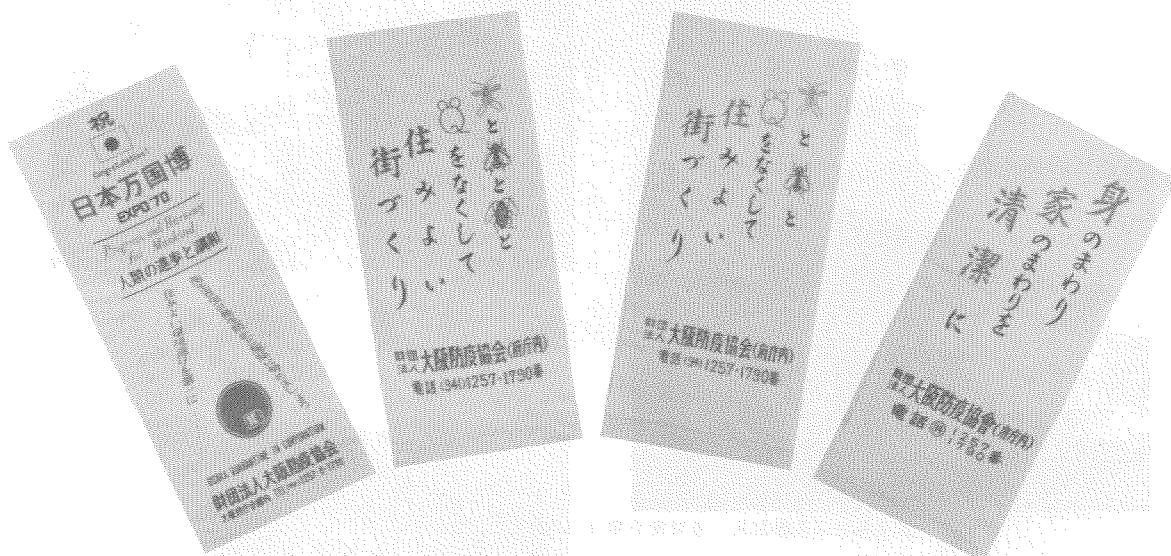


理事長 辻 野 直 三 郎

栄光に輝く叙勲

# 栄えある歩み





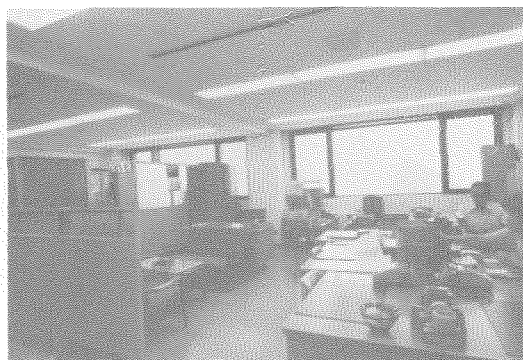
## 30年の歩み



## 活動の拠点

### 防疫資材部

(東大阪市中小阪318-11)

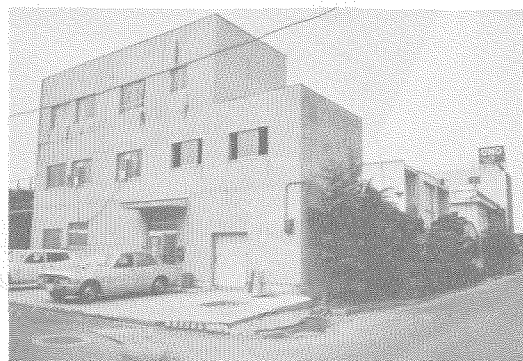
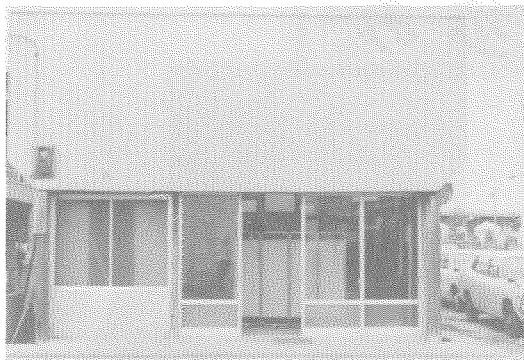


### 本部事務局

(大阪市城東区蒲生2丁目10-28)  
大阪府城東庁舎内

### 第1事業部阪南出張所

(泉大津市森330-3)

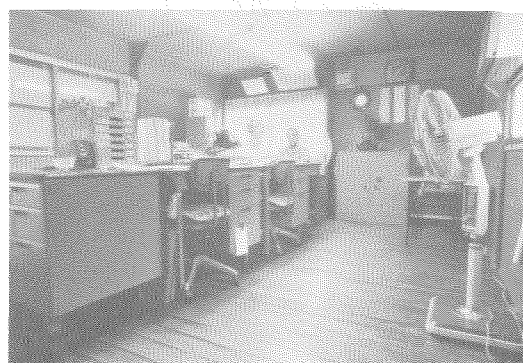
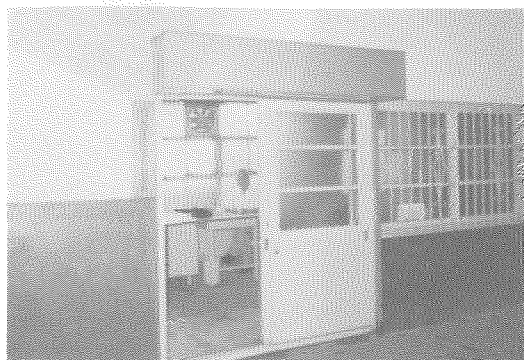


### 第1事業部中央出張所

(東大阪市中小阪295-3)

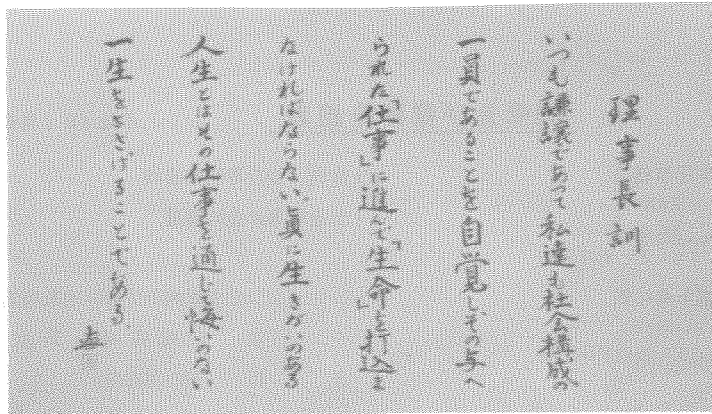
### 第3事業部

(大阪市西成区萩ノ茶屋3丁目)  
南海萩ノ茶屋駅構内



### 第2事業部

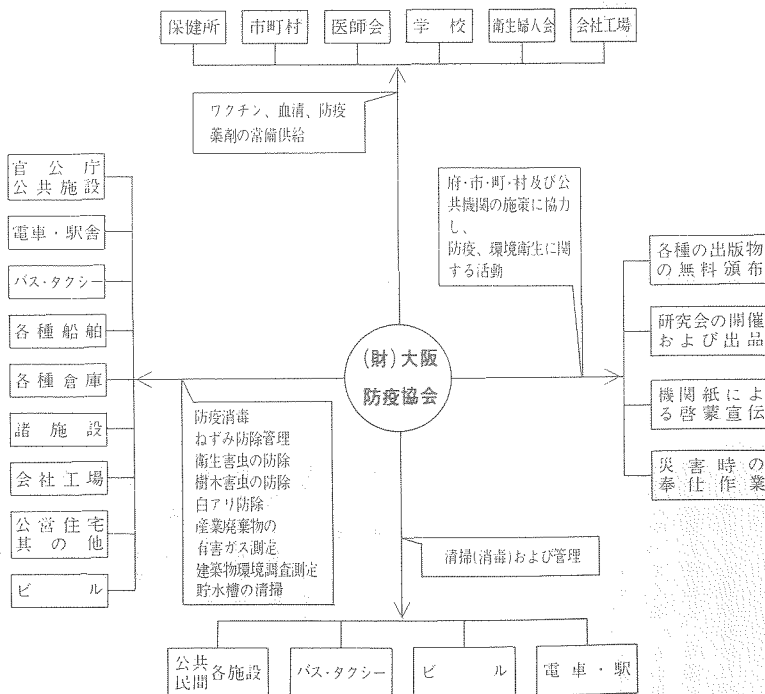
(大阪市淀川区十三東)  
阪急十三駅構内



信条

必要な時に、必要な場所へ、必要な資材を、又は確実に作業を実施する。これが防疫の要訣と信じ、まことの精神をもって最善の努力を尽します。

(財)大阪防疫協会活動状況





## 機構及び業務分担表

(52.10.1現在)

本 部	<b>本部事務局</b> 大阪市城東区蒲生2丁目10-28 (大阪府城東庁舎内) TEL 934-6680(代表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庶務、会計等総轄業務</li> <li>・公益事業の企画推進</li> </ul>
	<b>防疫資材部</b> 東大阪市中小阪318-11 TEL 724-0533(代表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン、防疫薬剤の常備供給取扱業務</li> </ul> <p>ワクチン類    防疫薬剤    殺鼠剤 血清類    水の消毒剤</p>
	<b>第1事業部</b> <b>中央出張所</b> 東大阪市中小阪295-3 TEL 722-1214 723-6537	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域及び住宅環境衛生コンサルタント</li> <li>・伝染病の予防および発生時の殺菌、殺鼠殺虫防除業務〔ねずみ、衛生害虫、白蟻、樹木害虫及び不快害虫等〕</li> <li>・自動車運送事業等運輸規則に定められた旅客自動車(タクシー、バス)の定期消毒</li> </ul>
	<b>阪南出張所</b> (大和川以南) 泉大津市森330-3 TEL 0725-21-5137~8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基く各種調査測定業務</li> <li>・貯水槽清掃の業務</li> <li>・産業廃棄物の有害ガス測定及び産業廃棄物処理施設環境保全業務</li> <li>・多人数集集場所の殺菌、清掃業務</li> </ul>
	<b>第2事業部</b> 大阪市淀川区(阪急十三駅構内) TEL 302-1276	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車、駅舎を主体とした消毒、清掃業務</li> </ul>
	<b>第3事業部</b> 大阪市西成区(南海萩ノ茶屋駅構内) TEL 633-9485	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車、駅舎を主体とした消毒、清掃業務</li> </ul>

### 編集後記

★表紙の写真は秋の味覚"とうきび"で着本阪南出張所長の作品です。

★本協会も皆様方の暖かいご援助で満三十年を迎えることができ、また本紙も人間であれば成人となる第二十号を発行できる運びとなりましたので、本号を創立三十周年記念号といたしました。玉稿を賜りました諸先生方には公私共御多忙中であり、かつ、例年になく猛暑の中にも拘らず御執筆戴き有難うございました。紙上を借り失礼ではありますが、厚くお礼申し上げます。

★東日本は異例の長雨、西日本は猛暑と渇水、思うまゝにならない自然の偉大さをしみじみと痛感いたします。"災害は忘れた頃にやってくる"とか異常な自然現象に注目し、日頃から防災の準備に心掛けなければなりません。

★酷暑の後、私等の体力も消耗しております。皆様ご健康に留意され、一層のご活躍をお祈りいたします。

(児玉)